

2006 年 4 月 25 日

日立ソフト

日立ソフトがフィッシング詐欺対策サービス「ケータイ OTP」を開発 ～携帯電話を利用して、取引連動型ワンタイムパスワードを実現～

日立ソフト（代表執行役 執行役社長：小川健夫、本社：東京都品川区）は、インターネットバンキング等のオンラインサービスにおいて、PC から入力した本人確認情報が不正取得されて、不正取引に悪用されるフィッシング詐欺被害の多発を受け、フィッシング詐欺対策サービス「ケータイ OTP（ワン・タイム・パスワード）」を開発し、7月より販売開始致します。

「ケータイ OTP」は、オンラインサービスの利用者が携帯電話を介して 1 回きりのパスワードを取得し、要求した取引内容とパスワードの両方が正しくないと取引が実行されないようなセキュリティ強化を実現するサービスです。当社ではインターネットバンキングを提供する金融機関を中心に、本サービスの活用を見込んでおります。

< 「ケータイ OTP」の特長 >

1) 「導入・運用コスト」の削減

「ケータイ OTP」は、エンドユーザへのトークン（認証用端末）配布の必要がないため、初期費用がかかりません。また、トークンの電池切れや故障による交換が不要なので、運用費用を大幅に削減することができます。

2) 高度なセキュリティ

「ケータイ OTP」は、サービス利用者が取引内容を Web 画面から金融機関等のサービス提供者側に送付した時点で、要求された取引に対して OTP が生成される仕組み（取引連動型認証）を採用しております。これにより、第三者によって改ざんされた取引は、正しい OTP が入力されたとしても実行されません。取引内容と OTP の両方が正しくないと取引が実行されないため、高度なセキュリティを実現します。

3) 見える化パスワード

「見える化パスワード」とは、インターネット上での実取引の際に、取引内容をパスワードと一緒に携帯電話の画面に表示させることです。これにより、エンドユーザは自身の目で取引内容とそれに付与されたパスワードを確認する事ができ、安心感を得ることができます。

< 「ケータイ OTP」の OTP 取得方法 >

OTP の取得方法には、2 方式が用意されています。

1) ダウンロード方式

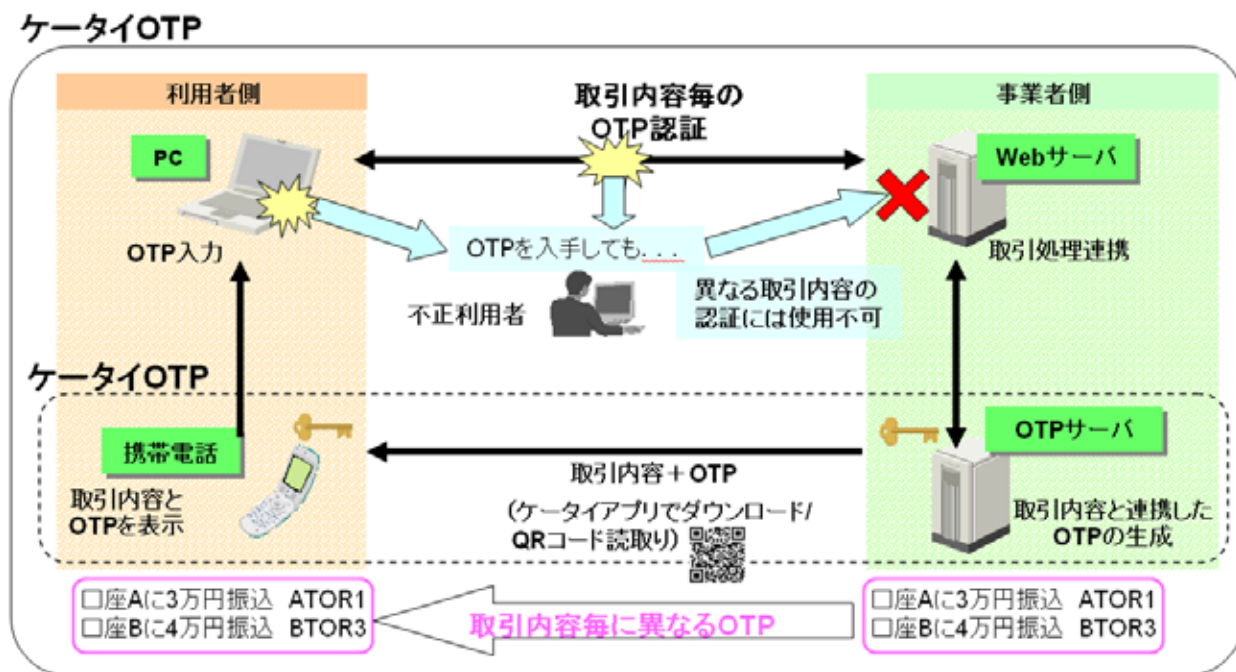
i モード・EZWeb・vodafone live といった携帯電話網を利用して、OTP 生成サーバにアクセスして、OTP を取得する方式です。

2) QR コード方式

Web の取引画面などに表示された QR コードを携帯電話のカメラで読み取り、アプリケーションで QR コードを解読し、OTP を取得する方式です。電波網がない地域でも OTP を取得できるため、いつでも何処でもパスワードを取得できます。

本サービスは、NTT DoCoMo、au by KDDI、Vodafone の主要な携帯電話網に対応いたします。
今後3年間で6億円の売上を目標としております。

<ケータイ OTP の利用イメージ>



<本件に関するお問い合わせ先>

日立ソフト CSR 本部 広報 IR 部 竹橋、高野
TEL : 03-5780-6450 E-mail:press@hitachisoft.jp

日立ソフトの正式名称は、日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社です。
ケータイ OTP は、日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社の商標です。
QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
その他記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。